



Serve to Change Lives

# ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区



2021-2022年度 11月号



【地区大会／2021・10・24】

## Contents

ロータリーの目的・四つのテスト.....	2	米山奨学生研究発表.....	16
ガバナーメッセージ.....	3	新入会員紹介.....	18
ロータリー財団月間に因んで.....	4	コーディネーターニュース.....	18
ロータリー財団からのお知らせ.....	6	2021-2022 地区内主要行事.....	19
ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより.....	8	<佐野東RC>の例会場の名称変更のお知らせ.....	20
第1回地区ローターアクト研修会報告.....	14	9月会員数報告.....	20



# ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の事項を奨励することにある。

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

# 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



### 「ロータリー財団月間」に寄せて

国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

石田 順一 (真岡ロータリークラブ)

新型コロナウイルスの感染者が減少してきています。少しでも早く例会を通常どおり開催できることを願っております。

日常ロータリーの理念を意識し行動することがいかに大切であるかを、今、各クラブに訪問し、取り組んでおられる奉仕活動を知り、私にとって貴重な財産となり、改めてロータリーの奉仕の精神を見つめ直す切っ掛けとなりました。お礼申し上げます。

11月は、ロータリー財団月間です。公式訪問において、会長幹事懇談会の席で私の任務の一つでありますご寄付のお願いをさせていただいております。

私は入会当時から、財団月間にクラブ財団委員長から寄付する了解の求めに応じ、何も考えず寄付をしてきました。その後もさっぱりシステムも知らず、言われるままに寄付し、またどの様に活用されているかも解らず毎年寄付を当たり前のようにしてきました(現在は1人150\$が目標です)。

当地区でも、高額寄付者(メジャードナー・ベネファクター・マルチプルポールハリスフェロー)の方がたくさんおられ、中でも250,000\$以上の寄付をされた飯村眞一PDGが地区で初めてアーチ・クランフ・ソサイティのメンバーとなり、次いで中谷研一PDGも同様の称号をうけました。多額の寄付をして頂いた会員の方に、なかなかできない立派な行動であると思いますし、改めて敬意を表します。

ロータリー財団は極めて効率の良い寄付金の運用と信頼のできる活動を行い、我々ロータリアンと共に活動しています。

ロータリー財団の極めて効率のよい運営については、ロータリー情報研究会監修のロータリー財団ハンドブックを通じて、詳細な説明、解説が載っています。参照してください。

当地区も、財団資金を利用した多くのプログラムが実施されています。コロナ禍でも皆様たちのアイデアで、地区補助金を使ったプログラム(奨学金を含む)、グローバル補助金を利用した海外事業や奨学生の派遣、VTT(職業研修チーム)などが行われています。

各々クラブが経験のない事業でも、地区を見渡せば当たり前のように毎年行っているクラブもあります。是非皆様には、他クラブの奉仕活動なども参考にいただき、特に国際奉仕プログラムを注視し、時にはオブザーバーとして参加したり、共同でのプログラムを実施していただければ、幅広い楽しいロータリーライフとなるような気がします。

この月間を通じて、財団に対し更なるご理解の上ご協力を重ねてお願い申し上げます。



### ロータリー財団の現状と今後の活動計画

RI2550地区ロータリー財団委員長  
**森本 敬三** (大田原中央RC)

2020年3月にWHOよりパンデミック宣言が出されて以降、世界各地で新型コロナウイルス感染症の猛威は続き、各国政府は対応に苦慮しながらも感染予防に努めていました。

世界中のロータリークラブも6つの重点施策の1つ「疾病予防と対策」としてグローバル補助金を使用し、医療機器や資材などの他、品不足の「マスク」や「防護服」等を配布し、地域の感染対応を行ってまいりました。そのためか、WF資金の不足を生じるという今までにない事態となり、今年7月よりグローバル補助金へのWFの上乗せが20%減額される等、補助金を活用してのプログラムに若干の変更を余儀なくされております。しかし、熱意あるロータリアンによる奉仕活動は止められません。

また、第4次緊急事態宣言下で1年遅れの「TOKYO2020」オリンピック・パラリンピックが開催されました。当初は感染予防、人流抑制の観点から開催が危ぶまれましたが、終わってみますと、オリンピック、パラリンピックから多くの感動を得られたのではないのでしょうか。そして、64年当時もそうでしたが2つの大会を経験する事により、ロータリーの掲げるD「多様性」E「公平さ」I「インクルージョン」へ、国民の視点が移り社会変容へと繋がっていけば、社会全体がバージョンアップしていくものと思います。

財団の掲げる6つの重点分野に「環境」が新たに加わりました。7つの重点分野へと視点を広げて、ロータリアンが取組む活動範囲の拡大へとつながっていくものと思います。しかし、一口に「環境」と言っても範囲は広く、地域、人の解釈によっては異なった取組みになってしまう場合があるかもしれません。そこで「環境」への取組みの指針として、「ロータリーの友」6月号に記載がありましたので転記致します。

- ▶ 生息地の回復、原生植物の植え付け、外来種の動植物の駆除
- ▶ 絶滅危惧種の保護と野生生物の違法取引の防止
- ▶ 乱獲、汚染、海岸浸食への取組み
- ▶ 環境保全と資源管理に関する地域社会の啓発
- ▶ 環境に優しい農業と持続可能な漁業の支援
- ▶ 資源管理に於ける伝統的知識・先住民族の知識の利用促進
- ▶ エネルギー効率の高い輸送手段への移行支援
- ▶ 環境有害物質への暴露の排除
- ▶ 食品廃棄物の排除

他のグローバル補助金プロジェクトと同様に、環境分野のプロジェクトも、地域社会の評価を受け、持続可能でなければなりません。対象外となる事業は、地域社会の美化プロジェクト、単発の清掃活動、広範な戦略の一環でない植樹、屋外レクリエーションなどです。この様に多岐にわたりますので、綿密な事前調査が必要になります。

さて、当地区の現状ですが、21-22年度の地区補助金申請は海外の奨学金2件と地域奉仕活動への取組み33件でした。また、グローバル補助金プロジェクトも現在の所6件と順調に推移している所です。しかしグローバル補助金を使用した奨学金(7つの重点分野に対応)や平和フェローへの取組み、そしてVTT(職業研修チーム)派遣等は未だ実施



していません。皆様のアイデアと情報とネットワークに期待致します。

### 〈ポリオ・プラス〉

また、国際情勢に於いては、ポリオ常在国のアフガニスタンで大きな動きがありました。

ポリオ根絶は国際ロータリーの最優先取組み事項になっているのはご存じの事と思います。昨年8月ナイジェリアで野生株によるポリオ発症が0(ゼロ)とWHOより承認され、アフリカ大陸での野生株によるポリオの発症が無くなりました。85年より取組んでまいりましたロータリアンの取組みが成果の形となった瞬間でした。残すところは、アフガニスタンとパキスタンの2か国です。標高も高く気候風土の大変厳しい土地柄ですが、WHO、ユニセフが中心となり取組んでいますのでワクチン投与の継続は続けられるものと思います。何卒皆様のご理解とご支援をお願い致します。

### 〈ロータリーカード〉

また、ロータリーカードがあります。このカードはロータリアンしか持つことが出来ません。普段のお買い物や電子決済にご利用いただければと思います。使用すればするほどポリオ根絶にカード会社からご利用金額の0.3%が寄付されます。当地区のカード保有率は2.0%(6月時点)と他地区と比べますと大変低くなっておりまして、皆様のご協力をお願い致します。

### 〈ポール・ハリス・ソサエティー〉

また、支援推進では、ポール・ハリス・ソサエティー会員への加入促進を推進しています。この認証は、ポール・ハリス・フェローは一回1,000ドルですが、このポール・ハリス・ソサエティーは毎年1,000ドルを支援していただける会員です。

例えば、ロータリーカードを持っていたら毎月10,000円をカード引き落とししていただければポール・ハリス・ソサエティー会員に認証されます。また、毎月50,000円を年次基金にご支援していただければ、2年後にはメジャードナーとして認証されます。この様にロータリーカードを利用して、毎月ご支援をしていただくと知らぬ間に認証ポイントが貯められます。

### 〈恒久基金〉

また、恒久基金では2025年までに20億2500万ドルを目標にしています。認証はベネファクターとして1回ですが、運用利回り(平均3.5%)も高く財団の基礎的資産の増加も図れるところから恒久基金へのご支援もお願いしている所です。

この様に、ロータリー財団では世界中のロータリアンが7つの重点項目に取組むプログラムの支援をしています。直接プログラムに加わり支援をする事や資金を拠出する形での支援をする事で多くのプログラムが実行されます。各クラブの財団委員会の委員長様はじめ委員の皆様には是非とも地区の目標達成のためにクラブ内でご尽力賜ります様お願い申し上げます。

### 〈地区目標〉

**地区目標 年次寄付1人150ドル、ポリオプラス1人30ドル**

**ロータリーカード普及促進**

**ポール・ハリス・ソサエティーの加入促進**

以上、今年度のご支援をお願いする内容となっています。

何卒、ご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

# 恒久基金ってすごいです！

ロータリー財団は1982年、後世のロータリアンが将来にもずっと奉仕活動を継続していけるよう、「恒久基金」を設置しました。ロータリー財団への年次寄付が今日の人びとへの支援に生かされる一方で、ロータリー恒久基金への計画寄付では、ご寄付が「永久に」生かされます。

恒久基金へのご寄付は投資され、その収益のみが、財団を通じて国内外で実施されるロータリアンの慈善活動に役立てられます。今年度、恒久基金は1350万ドルの投資収益を生み出しました。この収益は、ロータリー平和フェローシップ、奨学金、世界中でのグローバル補助金プロジェクトの資金、および地区が地元地域のニーズに取り組むための地区補助金として役立てられました。恒久基金が成長すれば、ロータリアンが世界で行う「よいこと」も大きくなります。

## 冠名基金

25,000ドル以上を恒久基金に寄付した方は、ご本人または大切な方の名を冠した基金を設立できます。すべての寄付金は投資されますが、各基金は会計上個別に扱われます。基金の設立時に寄付者に感謝状が贈られるほか、毎年基金の財務状況に関する報告が送付されます。

## ロータリーの恒久基金へのご寄付は、人々の人生を変えるプログラムの支援に永久に生かされます。

年次寄付はりんごのようなものだと考えてください。今この瞬間に助けを必要としている人びとの力になります。今日、人びとの暮らしに役立ちますが、せつかくのご支援もいずれ消えてしまいます。一方、恒久基金を通じて後世への贈り物を残すのはりんごの木を植えるようなもので、長年かけて木は育ち、その後何年にも渡って、りんごの実がなりつづけるのです。

ある冠名基金の実例をご紹介します。

この基金は、1994年に2万6000ドルの寄付金により設立されました。この期間に市場では浮き沈みがあったにも関わらず、基金は4万7000ドルにまで成長し、4万ドル近い使用可能な投資収益を生み出しました。この収益が、ロータリー財団の人道的な活動の支援に活かされてきました。この冠名基金は当初の寄付から20年間で、ロータリーのプログラムに投入された収益も含めて8万7000ドルにまで成長しました。これは寄付額の3倍を上回ります。

2万5000ドルをロータリーの年次基金に寄付することもできたわけですが、その場合、プログラムの資金として用いられ、3年間でこの全額がなくなってしまっていたことでしょう。恒久基金を選ばれたおかげで、寄付金は成長しつづけ、次世紀、さらにその先の世代のために、世界でよいことをしつづけるための資金となったのです。

遺産計画で恒久基金に2万5000ドルの寄付をご誓約いただくと、毎年、1,000ドルの使用可能な投資収益が生み出されます。これは、ポール・ハリス・ソサエティのメンバーとして認証される額です。25万ドルの寄付をご誓約いただくと、毎年約1万ドルの使用可能な投資収益が生み出され、世界中の地域社会で人びとの暮らしを向上させるための資金となります。

この賢明な財務戦略により、現金寄付と恒久基金への寄付はロータリーの今後の活動を支える資金源となり、毎年、プログラムを支援することで世界に変化をもたらしつづけるのです。

ロータリーの未来のために恒久基金をご支援くださった方々を、ほんの数例ですが、ここにご紹介します。

## 「ロータリーを通じて後世に残すもの—— それは思いやりあるリーダーたちが支えていく世界」

ブレント・ウィリアムズさんは、ロータリーリーダーの育成に情熱を傾けていました。また、ロータリー職員にも、いつも親切に接していました。

「恒久基金を通じて、“より良い世界”というロータリーの約束において、一人ひとりが声をもつことができます」

ブレントさんが医師に不治の病を宣告されると、彼のロータリークラブは特別な募金イベントを実施。このイベントには多くのロータリーリーダーを含む130人が参加しました。この募金の結果、ロータリー恒久基金内に「ブレント&ナオミ・

## ロータリー財団からのお知らせ

ウィリアムス基金」を設置しました。

奥様のナオミさんも、「恒久基金を通じて、“より良い世界”というロータリーの約束において、一人ひとりが声をもつことができる」というブレントさんの考えを支持しています。

2016年にブレントさんが他界して間もなく、ナオミさんは、夫の遺志を継いでゲーンズビル・ロータリークラブに入会しました。家族たちも、ブレントさんの寄付が奉仕に活かされているのを見られることを嬉しく感じています。

毎年、ウィリアムス基金が生み出す収益がロータリー財団を通じて地域社会を支援するとき、亡きブレントさんの優しさと奉仕への情熱を思い出すことができるそうです。それもすべて、ブレントさんがロータリーを遺産計画の中で指定し、周囲の人びとがその意思を尊重したからです。

### 「ロータリーを通じて後世に残すもの——それは国際紛争のない世界」

今は亡き福井正典パストガバナー（ふくい・まさふみPG）は、1965年に入会して以来、ロータリーでリーダーシップを発揮し、世界平和を築くことに熱意を注いできました。紛争のない未来を願う福井さんは、ロータリーを通じて後世への贈り物を残したいと考えていました。

ロータリー財団「遺贈友の会」への入会に加え、ご夫妻の名前で基金を設立することで、資産の一部をロータリー財団に託し、世界のために役立っています。

福井さんご寄付により、既に2名のロータリー平和フェローが支援を受けました。

その一人、金子由佳さん（2009-11年度、クイーンズランド大学）は、国際救援団体のプログラムコーディネーターとして東エルサレムとガザで活動し、福井さんの願いを現場で実践しました。

もう一人の平和フェロー、ジェヤ・ムルガンさん（2014-16年度）は、非武装の民間人による平和構築活動に関するフィールドワークを2年間行った後、東京の国際基督教大学に留学しました。

福井さんご夫妻は、この冠名基金を通じて「平和な世界」という後世への贈り物を既に残しはじめていらっしゃいます。「私の寄付は、未来への贈り物です。この贈り物を通じて人びとのお役に立てれば嬉しく思います」と故福井正典パストガバナーは語っていました。

### 「ロータリーを通じて後世に残すもの——それは行動人が変えていく世界」

メーガン・ティリーさんはロータリーファミリーとしてボランティア活動に50年間尽くしてきました。そして、この奉仕をずっと続けていきたいと願っています。

彼女のビジョンは、ロータリーを通じてより多くの人が結びつき、世界の人道的問題を解決していくことです。

メーガンさんは、毎年行う寄付をシェア（国際財団活動資金と地区財団活動資金）への支援に指定しています。そうすることで、地区や世界の人びとがより豊かで、安全で、健康に暮らすために、自分の資産を役立てられると考えています。

「自分がいなくなった後も、私の資産を地域社会のために役立ててもらいたいと思いました。そのための最良の方法が遺贈だと感じたのです」とメーガンさんは言います。

恒久基金への寄付は、「未来への寄付」。このような寄付を通じて、奉仕への思いを同じくする世界中の人びとをつなぐ100年の伝統の一部となることができます。

ご自分に合った形で変化をもたらし、ロータリー活動を支援する皆さまの情熱とご厚意にロータリーは深く感謝いたします。今後も皆さまのお心に沿えるように、資金を管理してまいります。明日を支えるのは皆さまのご支援なのです。

国際ロータリー 2021-24年ロータリー財団管理委員長 ジョンF.ジャーム

R I 第2550地区 2021-22年度ロータリー財団委員長 森本 敬三

## 8/10<sup>火</sup> 烏山ロータリークラブ

会長 萩原 宣子  
幹事 福田 長弘



8月10日(火)、石田純一ガバナー、大村一夫第2グループガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問を行いました。

今年度はコロナ禍という事もあり、公式訪問は会長・幹事懇談会のみで開催となりました。

大村ガバナー補佐の進行により懇談会は始まり、当会萩原会長の挨拶を行い、石田ガバナーより、2021-22国際ロータリー会長であるシェカール・メータ会長の今年度の目標「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」、この目標の内容説明、第2550地区の地区方針・目標について丁寧に説明を頂き、烏山ロータリークラブからは会の現状・今後の取り組みについて伝えさせていただきました。地区目標の中の課題としては、当会の喫緊の課題は会員増強であり、このコロナ禍において活動を継続できず退会された会員もいて、会員の減少傾向は最近強く見られるようになりました。なかなか新規会員候補も見つからず困っていると申し上げたところ、現状の継続だけでなく近隣のクラブとの合同例会の開催など、新しく会員に参加する興味の間口を広げる活動に取り組むなど、いろいろな御助言を頂きました。正直どのようにロータリークラブの活動を地域の方々に伝えて会員の増強を思案しておりましたので、今後の活動に反映させて、目標に手が届くようにしていきたいと思います。またIT活用の推進では、当会会員の多くが年齢によりIT関連が得意でないことから、例会のオンライン開催ができないことなど、地区方針・目標に挙げられてもたどり着かないものもあります。これらの事は今年度に限ったことでなく、毎年目標の達成に苦慮しているところです。クラブ戦略計画の策定については、何とか目の前の年度をクリアすることはいっぱいで計画の策定はおざなりになっていたことは否めません、クラブの将来を見据えることで現状の再認識・課題解決などが明確になっていきますので、しっかり取り組んで行きたいと思います。今回石田ガバナーに訪問頂き様々なことに対してご意見を頂き、改めてロータリー活動に対する思い、気持ちを新たにすることが出来ました、今回は会長・幹事だけでしたので、全会員にガバナーの熱意を伝え、会員一同で今年度のロータリー活動に向き合って参ります。

石田ガバナー、大村ガバナー補佐、ご多忙にもかかわらずご来訪ありがとうございました。  
今年度よろしくお願ひ致します。

### <我クラブの奉仕事業>

①新小学1年生にランドセルカバーの贈呈、②市の図書館に絵本の寄贈、③市内小中学校・高校へのロータリー賞授与、④南那須地区の少年の主張コンクールへの協賛・審査員として参加、⑤烏山高校の「烏山学」への協力、などを継続しております、⑥今年度からはさらにペットボトルキャップ回収事業に取り組み、地域福祉・地域教育への支援を行おうと準備を進めているところです。これらの活動は引き続き行っていき地域との繋がりを大切にしてゆきたいと考えております。

## 8/31<sup>火</sup> 宇都宮東ロータリークラブ

会長 倉井 章  
幹事 渡邊 和裕



8月31日(火)当クラブの例会会場でありますホテルニューイタヤにて石田順一ガバナー、第3グループB渡邊有規ガバナー補佐、随員の真岡ロータリークラブから金子正男地区幹事と川堀哲男様をお迎えました。栃木県も緊急事態宣言が発令されたことから会長・幹事懇談会のみで開催でガバナー公式訪問並びに五大奉仕委員長を交えたオープンディスカッションは残念ながら中止となりました。11時より会長・幹事懇談会が開催されました。

石田順一ガバナーのスローガンでもあります「未来のクラブを描きましょう」5年後、10年後のクラブのビジョンを描くためにもまずは会員増強の重要性についてお話いただきました。「Each One.Bring One」(みんなが一人を入会させよう)という目標の中で退会



## ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

者を出さない工夫も求められました。当会は趣味の会という会員の交流をさらに深めるための会があり(囲碁クラブ、熱燗クラブ、ワインクラブ、JAZZクラブ等)素晴らしい取り組みであるとお言葉をいただきました。更なる会を増やして、もっと趣味の会を盛り上げるようご指摘いただきました。また社会奉仕に関してもクラブメンバーだけでなく民間の人たちも巻き込んで行くことの重要性をお話いただきました。ITの活用ですがコロナ感染拡大の状況の中当クラブは会場とオンラインの併用(ハイブリッド)開催をしております。またソーシャルメディア委員長による、宇都宮東ロータリークラブface book サイト立ち上げについても触れていただき、フォロワーの充実もお話いただきました。

それに関連して「MY Rotaryへの登録」や「クラブセントラルへの登録」の促進もお話いただき早急に進めたいと考えています。ロータクトクラブとの今後の関わりなど今後起こりうる変化の中で石田ガバナーの方針やお考えをお聞きする機会をいただきありがとうございました。あつという間の1時間の会長・幹事懇談会でした。コロナ禍で厳しいクラブ運営ですが石田ガバナーの熱いお言葉をいただき今後の宇都宮東ロータリークラブの運営に活かしていきたいと思いました。

石田ガバナーこの度は、ご来訪いただき誠にありがとうございました。

### <宇都宮東ロータリークラブの奉仕事業>

社会奉仕として現在一昨年新設された知的障害児の放課後デイサービスに対し外で遊ぶ遊具設備がなく児童がストレスを抱える場面が多いというお話を聞き施設に対して遊具の設置を行う事業を今年度、行っております。

職業奉仕として宇都宮東警察署の優秀警察官への表彰も実施しております。

## 9/1水 栃木ロータリークラブ

会長 嶋田 完治  
幹事 大澤 光司

9月1日(水)、石田ガバナー、片柳ガバナー補佐、真岡ロータリークラブより齊藤会長、渡邊幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。折しも栃木県に緊急事態宣言が発出されたため、今回は会長・幹事懇談会のみで開催となってしまう、通常の例会での行事とディスカッションは中止となってしまいましたが、1時間余の懇談会では、直接顔を合わせなければ得られないであろう、心の通った和やかな雰囲気でご指導を受けることができ、我がクラブの4名(会長、幹事、副会長、副幹事)も、ガバナーのお人柄に触れられて、大変有意義な会となりました。最後にお見送りした時に、ガバナー公式訪問専用車を見ることができ、そのことでまた話が盛り上がりました。

石田ガバナーには、いろいろと大変な中ご来訪いただき、大変ありがとうございました。

### <我クラブの奉仕事業>

2019年地区大会開催記念に建立された「古澤丈作顕彰碑」の清掃奉仕活動を第6グループの各クラブ持ち回りで実施しています。今年は、7月28日炎天下の中、作業前に会長から、古澤がロータリーの神髄を何とか日本中のロータリアンに伝えたいという情熱を込めて大連宣言を創作したのだから、そのことに思いをはせながら清掃奉仕をしようと挨拶があり、実施しました。

この、世界に一つの顕彰碑をきっかけとして、今後末永く古澤丈作の偉業を伝えるとともに、日本中のロータリアンもしくは世界中の米山奨学生及び元奨学生たちに古澤の偉業、精神、それらを記した顕彰碑の存在をもっと広め、公共イメージの向上を図って行きたいと思えます。

### 古澤丈作氏の偉業

古澤丈作氏は栃木市出身の企業人で、大企業のロンドン駐在員や、満州の大連支店長や大連市議などもつとめた国際人でしたが、言わば日本におけるロータリー草創期には大連ロータリークラブを創設し、その大連から、当時英語でしか学べなかったロータリーの神髄を格調高い日本語で著した「大連宣言」を創作発表しました。1929年(昭和4年)のことです。大連宣言には、我々ロータリアンの職業人としてあるべき理想の姿が明確に示されていて、時を超えて私たちを導いてくれます。

第二次大戦後、東京ロータリークラブのリチャーターメンバーとしてクラブを再興しその後会長に就任した際、戦地となったアジア諸国への贖罪として、後の「ロータリー米山記念奨学会」となる奨学金制度、米山基金の設立に尽力し、初代委員長となりました。これまでに約2万人の外国人留学生に奨学金を支給してきました。古澤が自分の業績ということをあまり表に出さず、心から尊敬していた米山梅吉翁の名を冠したところは、栃木県民らしくて親しみを覚えます。

顕彰碑には古澤のポートレートと米山基金創設の業績と大連宣言の五つの条文が記されています。



## ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

### 9/2(木) 足利わたらせロータリークラブ

会長 泉 博康  
幹事 倉林 宏



この度のコロナ過、緊急事態宣言下により通常の公式訪問が難しく例会並びにオープンディスカッションが中止となり会長・幹事懇談会のみとなりましたが9月2日(木)にソーシャルディスタンスに配慮して足利わたらせRC例会場のある足利ニューミヤコホテルにて石田順一ガバナー、五十嵐第8Gガバナー補佐並びに随行者に真岡RCより廣瀬会員、大森会員、足利東RCより栗原会員にお越し頂き、当クラブからは泉会長をはじめ幹事、会長エレクト、幹事エレクト、事務局の計10名にて公式訪問を開催いたしました。

懇談会では会長が参加者を紹介したのち石田ガバナー、ガバナー補佐の順に一言ずつ頂きガバナーの進行のもと今年度の当クラブの事業計画等の予定や地区に対しての質疑を例会、会員増強、年会費、地区補助金、ローターアクト等といった事を中心に意見を交換し合い終始にわたり有意義な時間を過ごす事が出来たと思います。

今年度のクラブ運営においてコロナ過で加速するリモートによる例会の必要性、相次ぐ事業の中止による活動の停滞などで、不安を感じておりましたが、石田ガバナーより「事業計画のままならない状況が続き、例会すら開催出来ない状況です。やれる事からやってみましょう。」の一言を頂き、肩の荷が軽くなったように感じます。

ガバナーに下半期のロータリー活動に備え上半期で蓄えた活力を出し切る事をお約束して閉会致しました。

最後に緊急事態宣言下にもかかわらず、石田ガバナーにおかれましては早朝よりお越し頂き誠にありがとうございます。尚、不備、無礼等多々あったかと思いますがロータリーの友情にてご容赦頂ければ幸いです。

#### <我がクラブの奉仕事業>

当クラブ創立以来、青少年育成を目的とする継続した事業が二つあります。一つは少年少女野球大会「わたらせ杯」もう一つは児童養護施設 泗水学園の支援事業です。前者は青少年奉仕活動として毎年11月3日(雨の降らない特異日で30年間降ってない)を含め二日間の日程で主に町内会による野球チーム14チーム前後で競っております、10年前には地区補助金で利用している球場に簡易トイレを寄贈致しました。

後者は社会奉仕活動として学園の納涼祭、餅つきに参加し、その他BBQ又は小旅行を執り行っています、4年前には地区補助金を利用し児童をキッズニア(子供向けの職業体験テーマパーク)に招待したりしています。

この他にもエコキャップ回収や花火大会後の清掃など環境に関する奉仕事業も行っております。

コロナ過で出来る事業出来ない事業がありますが、ガバナーの「やれる事からやってみましょう。」の言葉どおり、ロータリー活動に努めてまいりたいと思います。

### 9/3(金) 黒羽ロータリークラブ

会長 吉成 慶司  
幹事 丹野 洋



9月3日(金)、秋晴れの中、石田順一ガバナー、富田勤ガバナー補佐、真岡ロータリークラブより中川宏行様、小林勇一郎様をお迎えしての公式訪問がホテル花月にて開催されました。緊急事態宣言・警戒度レベルステージ4であるため11時30より会長・幹事のみでの会議となりました。吉成会長よりクラブの方針・活動内容報告をさせていただきましたが、コロナ禍で昨年同様活動自体に制限もあり難しいクラブ運営の中、当クラブにおいて一番の課題である会員増強について説明をさせていただきました。全クラブ中、最小の7人でのクラブであるためこれ以上の会員減少はクラブ存続の瀬戸



## ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

際であり、先々の在り方を検討する時期に差しかかっているものの、『黒羽ロータリークラブ』は存続するという吉成会長の強い意志を感じ取る説明もありました。

ガバナーにおきましても、小規模クラブならでの苦労点や会員増強における課題や要点等を質疑応答形式で熱心に対応して頂きました。地域における企業数の減少や会員の高齢化等さまざまな問題も複合的課題であり、他クラブの取り組みや成功事例等も交えて適格なアドバイスも頂きました。石田ガバナーと吉成会長の熱の入ったやり取りの中、あっと言う間の90分でありました。この熱談を聞いていてまだまだ当クラブでもやれる事がある、会員増強を図り黒羽の地にロータリーの灯を消してはならないと感じられた時間でした。

本来ならパワーポイントを使って戦略計画の説明があるとの事でしたが、コロナ禍という事で拝聴できなかったのは残念でした。またの機会を楽しみにしたいと思います。

限られた時間ではありましたが、ロータリーの原点に立ち返る事ができた価値のある公式訪問であったかと思えます。

## 9/7(火) 西那須野ロータリークラブ

会長 渡邊 将宏  
幹事 太田 仁



9月7日(火)に石田順一ガバナー公式訪問が例会場のいとう家で開催されました。本年度のガバナー公式訪問は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下での開催ということで、会長幹事懇談会のみで開催となりました。会長幹事懇談会には石田ガバナー、富田ガバナー補佐、ガバナー随同行の真岡RCの森田出席委員長、久保田スマイル委員、西那須野RCからは会長、幹事のみ計6名の参加で行われました。当日、石田ガバナーは懇談会の30分前に公式訪問カーで颯爽と登場されました。

その後公式訪問カーの前で写真撮影を行い、バナー交換を終えてから、会長幹事懇談会となりました。まず石田ガバナーよりご挨拶をいただき、シェカール・メータRI会長からの西那須野RC

創立50周年のお祝いの言葉を代読していただきました。

懇談会では、会員増強や例会の開催方式、また友好クラブや海外の姉妹クラブとの交流の状況、そしてローターアクトクラブの話題等多岐にわたる意見交換を行いました。また現在進めている台湾の桃園ロータリークラブとのグローバル補助金時の事業にご支援いただきました。特に今回石田ガバナーが熱心におっしゃっていたことは、クラブ戦略会議、そしてクラブの行動計画の策定についてです。本年度の石田ガバナーの地区のテーマは～未来のクラブを描きましょう～です。そして目標の中にクラブ戦略会議と、行動計画があります。5年後、10年後のクラブのあるべき姿を見据えながら、現在を行動することが大切です。創立50周年の今こそ、これからの西那須野RCの未来を考えていきたいと思えます。

そしてガバナーは最後に今年50周年ですから50人で周年記念を迎えてくださいとの言葉がありました。現在47名の会員ですので純増3名が必要となります。来年の創立50周年記念式典では、石田ガバナーを50名の会員でお迎えしようと思えます。

### <我がクラブの奉仕事業>

台湾の桃園ロータリークラブとのグローバル補助金事業を本年度も計画しております。GG2124671、Breast cancer and cervical cancer examination mobile vehicle(乳がんと子宮頸がんの移動検査車両)です。台南や雲林の農村地区に乳がんや子宮頸がんを早期に発見するための検査車両を購入する事業です。総額390,000ドル、2550地区15,000ドル、西那須野ロータリークラブ5,000ドル。その他、国内では2570地区や当クラブの友好クラブの郡山安積ロータリークラブ、そして台湾の桃園ロータリークラブと23のクラブが参加する事業です。2550地区の皆様のご協力に感謝しております。

# ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

## 9/8水 今市ロータリークラブ

会長 小柳 洋  
幹事 大橋東四郎



9月8日(水)日光東照宮晃陽苑において、石田順一ガバナー、野本晃也ガバナー補佐、ガバナー随員2名をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

本来なら会員全員でお迎えいたすところではありますが、緊急事態宣言が発令され誠に残念ですが会長、幹事2名でのお迎へとなりました。

10時30分より会長幹事では石田順一ガバナーよりシュカール・メータRI会長方針の説明並びに石田順一ガバナーの今年度の方針を聞きしました。

会員増強は全てのクラブにおいて最重点課題であります。当クラブも会員増強に力を入れております。今年度5名の増強を目標にしております。

また、コロナ渦の中オンラインによる理事会、例会の開催を検討しており今月末くらいにZOOMによる理事会のシミュレーションを計画しております。

また、コロナ渦の中オンラインによる理事会、例会の開催を検討しており今月末くらいにZOOMによる理事会のシミュレーションを計画しております。

その他クラブセントラルの利用、SNSへのPR 長期計画委員会の立ち上げなどを今後の課題といたします。

本日入会いたしました沼尾明弘君の入会式にあたり石田順一ガバナーより襟章を授与していただきました。

最後に石田順一ガバナー本日はお忙しい中ありがとうございました。これからもご指導をおねがいたします。

## 9/21火 栃木西ロータリークラブ

会長 早乙女雅彦  
幹事 神澤 彰



9月21日(火)石田順一ガバナー、片柳均ガバナー補佐、ガバナーの所属クラブ真岡ロータリークラブからも齊藤敏彦会長と青木圭太会員増強委員をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催致しました。今回の公式訪問は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下での実施となり、当クラブからは正・副会長、幹事4名の出席による懇談会のみとなりました。

片柳ガバナー補佐の進行により地区方針・目標に沿って、当クラブからの事前報告・質問事項等に基づいて進められました。会員増強に関しては昨年度より会員増強プロジェクトグループを編成し増強に取り組んだ成果として4名の新入会員を得ることができ、会員増強優秀賞も受賞することが出来ました。今年度も目標を純増4名として引き続き会員増強プロジェクトグループを活用して取り組みたいと考えております。ガバナーより女性会員の多いクラブは雰囲気明るく、活発であるので是非女性会員の入会を推進してほしいとのご指導いただきました。さらに5年後のクラブを想定し、My Rotaryの情報等を活用してクラブ戦略計画を策定してみたいとのご助言をいただきました。また、奉仕活動においてはその広報活動としてSNS等を活用したPRを積極的に行ってほしいとご要望をいただき、2820地区で行われた「ロータリー奉仕デー」として茨城海岸美化プロジェクトへの参加についてのご紹介をいただきました。

全会員がガバナーの卓話をお聞きし、ディスカッションをする機会を持てなかったことは残念ですが、大変有意義な懇談をすることができましたことを心より感謝申し上げます。

全会員がガバナーの卓話をお聞きし、ディスカッションをする機会を持てなかったことは残念ですが、大変有意義な懇談をすることができましたことを心より感謝申し上げます。



# ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

## <我がクラブの奉仕事業>

平成10年より栃木工業高校にインターアクトクラブを結成・提唱し、特に同校において毎年行われておりますタイにおける車イス修理のボランティア活動を支援しています。当クラブ会員もタイに同行し日程の一部を見学することも行っておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により昨年は中止となってしまいました。今年も中止の予定とのことです。感染が収束し再開できることを望んでおります。

また今年度は新たな事業として、地区補助金を活用した寺内崇幸杯争奪学童野球大会の支援を計画しております。元巨人軍選手で現在は栃木ゴールデンブレーブスの監督をしている寺内崇幸氏の協力により、今年度より栃木市内の学童を対象とした野球大会が開催されることとなりました。この学童野球の支援を通して青少年の育成に協力できればと考えております。

## 9/22水 宇都宮南ロータリークラブ

会長 関口 隆  
幹事 佐々木 隆



9月22日水曜日「ホテルニューイタヤ」におきまして、第2550地区石田順一ガバナーによる公式訪問が行われました。

当クラブでは新型コロナウイルス感染拡大対策を万全にとり、緊急事態宣言下において例会を一度も休まず開催する為に、3密を避け、下記の対策を実行しております。

- 会場を2倍の広さに設定
- 大型サーキュレーター10台を導入
- 二酸化炭素濃度検出器の設置
- 1m以上の間隔を取り、スクール形式の机の配置
- 一人ひとりのアクリルボードの設置

●発言者ごとのマイク消毒

●例会での持ち帰り弁当から、食事チケット利用への変更

例会を休まず開催している事、そして、ガバナーアドレスを会員一同熱望していることを石田順一ガバナーにお伝えし、ご無理を通していただき、例会にてガバナーアドレスをいただくことができました。

シェカール・メータRI会長のメッセージ及び、行動計画の優先事項4点をお伝えいただきました。そして地区のスローガン「未来のクラブを描きましょう」について、クラブ会員により多くの価値をもたらすための、クラブ戦略計画の策定をしていただきたいとお示しいただきました。

このような厳しい環境の中で、ガバナーアドレスをいただいた石田順一ガバナーおよび渡邊有規ガバナー補佐に、会員一同感謝申し上げます。

## <我がクラブの奉仕事業>

●「宮っ子元気食堂」の支援

学校法人日々輝学園高等学校様と共催で毎月第2・第4月曜日の夕方に食事や遊び場の提供をしております。無料での提供で募金箱を設置して利用していただく仕組みとしております。子ども同士での利用や家族連れの利用など毎回50食程度のご利用があります。

●スペシャルオリンピックスの支援

●フィリピン、セブ島におけるNPO法人セブウィッシュの支援

# 第1回地区ローターアクト研修会報告



地区ローターアクト委員長 松山 栄 (宇都宮東RC)

9月11日(土曜日)午前10時、県内では9月30日まで緊急事態宣言が延長され、予断を許さない状況下の中、国際ロータリー2550地区ローターアクト研修会を、コロナ感染防止策を講じ完全オンラインで開催しました。この研修は、ロータリー章典に記載される「ローターアクトリーダー研修会」であります。地区では永年、このようなローターアクトリーダー研修を開催出来ずにいましたが、2019年の規定審議会でローターアクトの地位向上に伴う変化に対応するうえで必須研修と位置づけられ、地区ローターアクト委員会の年間事業活動のひとつとし、当委員会が研修会の実行委員会を務めることになりました。今年度の地区ローターアクト研修会のテーマは、「未来につなぐ」です。地区ローターアクト代表は、次年度のために未来のためにローターアクトクラブを運営していくために、その本質や現状を知ったうえで、意思をもって運営していくことが必要であると感じ、今一度地区内のローターアクターで未来につなぐ可能性を考える場として地区研修会で「未来につなぐ」をテーマとしてとり上げました。

研修会は、石田ガバナーから“もっと成長しよう”“Each one, Bring one.”ぜひアクターの皆様にも、自分が増強するんだ！という覚悟を持っていただきたいと強いメッセージの挨拶をいただき、次いで地区ローターアクト委員長挨拶、最後に地区ローターアクトクラブを代表して地区ローターアクト盛合代表挨拶をいただきました。

続いて、本日のメインプログラム「その1」は、ローターアクトリーダー研修卓話です。

「ローターアクターが地位向上でR I から得た重要なもの」と題して、地区ローターアクト委員長である松山が、ローターアクターの皆さんとロータリーファミリーの皆さんにこれだけは覚えて欲しいと、ローターアクトの方針に関する最近の変更より重要な点をあげて卓話をしました。

続きまして、「未来につなぐ」地区ローターアクト研修会のテーマより、「今後のローターアクトについて」と題して、つぎの様なメッセージを発信しました。



# 第1回地区ローターアクト研修会報告

確かに、世界のローターアクトは変化し、地位の向上も勝ち取りました。しかし、日本のローターアクターはどうでしょう。私は、世界のアクターとの差に驚きを隠せません。今まで、先輩アクターがやってきた活動をただ継続していたのでは、地位向上したとは言えません。地位の向上は国際ロータリーが勝手にやったものではありません。少なくとも世界のどこかのローターアクターが望み続けてきたこと、それに対する国際ロータリーの判断であり評価です。ですから、こうした結果が出た以上はそれに従ってやってみる。やってみただけだと変だと感じたら、意見をし、改善する。そんな繰り返しの中に日本らしいより良いローターアクトの活動基盤ができると思います。

日本では、今回のローターアクトの地位向上はすんなりとロータリアンには受け入れられないと思いますが、ロータリアンへ国際ロータリーの考え方をローターアクトのさらなる変化で体感してもらいましょう。ローターアクトが変わればロータリーは変わります。私達委員会も応援します。この2550地区からスタートさせましょう。全国34地区で今年からアクトは変わったという認識を持って、過去の様々な活動を継承するだけでなく、開放性や革新性、柔軟性を持って新たにこれから始まる活動をローターアクトの皆さんで討論し、ぜひ実行してください。

さらなるローターアクトの変化を楽しみにしています。

ロータリアンとローターアクターはロータリーファミリーとして、考動人として協働し、ロータリーの新しい「行動計画」での欠かせない存在として、ローターアクターの重要性を推奨するものです。行動計画とは、私達は世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動できる世界を目指すものです。

2550地区のローターアクターで全国34地区が一堂に集う「全国研修会ローターアクト代表者会議」でこの行動計画に真摯に向き合い、良き伝統は継承し、さらなる新しい変化を加えてみましょう、と呼びかけてはいかがでしょうか。

より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的な関わりを促し、適応力を高めること。これが行動計画です。アクターの皆さん、ぜひ全国のアクターに先駆けてチャレンジしてみてください。

結びに、当地区の課題であるローターアクトクラブの新規設立に向け、今後提唱ロータリークラブのローターアクト支援金の負担軽減を地区としてどう考えるかが、カギとなりその解決いかんで、地区内新規ローターアクトクラブの誕生となるのでは無いかと思います。以前ガバナーにお願いしました、「ローターアクト基金」の設立、今後早々のご検討を期待します。と、ご参加のローターアクターの皆さんとロータリアンの皆さんに思いを伝えてみました。

卓話の次は、全員参加型の「ローターアクト知恵袋」を一時間の間合いで開催しました。

ローターアクトを未来につなぐため、Yahoo!知恵袋のようなローターアクトに関する悩みや疑問をご参加の皆様と一緒に解決していくプログラムです。

まずは盛合代表から、①リーダーの育成と会員の増強に関する悩みを、石田ガバナー・盛合代表・松山委員長・相樂代表補佐による質疑応答。

次に村山会員(宇都宮東RAC)は、②ローターアクトクラブの例会頻度についての悩みを、相樂代表補佐・村山会員・松山委員長・盛合代表による質疑応答。

続いて小座野清博会長(足利東RC)は、③ロータリアンのローターアクトの意識についてと題し小座野会長・松山委員長・相樂代表補佐による質疑応答。



## 第1回地区ローターアクト研修会報告

あっという間の一時間が過ぎようとしていた中、相楽代表補佐からローターアクトの標語として『Fellowship through service(奉仕を通じての親睦)』というのがある。オンラインでは会合はできるが、対面奉仕活動はなかなか難しいという実情があり、ロータリークラブの奉仕活動においてもロータリアンの皆様も悩みとしてあると思うので、オンラインで話し合いをしながら、若い意見とベテランの意見で意見交換を行うのも一つの方向性であるとお言葉をいただき、今後もこの全員参加型の「ローターアクト知恵袋」を定期的に開催することで、意見が一致し第1回ローターアクト研修会を終了しました。

末尾に、今回の研修会を終え、型にはまり卓話をするのが時代遅れの感がし、コロナ感染症の真ただ中にも拘らず、オンラインと言うデジタル化での会議が可能な時代にご参加されましたロータリーファミリーに申し訳なく感じた次第です。今後のローターアクト研修会は、テーマに対し参加者全員が自由に発言し、知っている者が答える、そんな「ラフな会議」を実行しようと思います。

今回の地区研修会の開催にあたりご準備を重ねてこられました地区ローターアクト代表をはじめとするローターアクトの皆様に深く感謝いたします。

## 米山奨学生研究発表

作新学院大学経営学部経営学科4年

米山ロータリー奨学生

世話クラブ\*宇都宮90RC サブ世話クラブ\*日光RC

**名前: NGUYEN THI HUONG LY**

グエンティホンリー

### 研究テーマ:

国際経営の研究、主にはベトナムに進出している日本企業のメリット・デメリットについて研究しています。

### ベトナム進出のメリット・デメリット

現在、多くの外資系企業がベトナムへの進出を試みています。ベトナム国内の物価の低さに伴って労働賃金も安く、人件費を抑えることが出来るため、ベトナムでは前述のような質の高い人材を比較的低コストで確保出来ることで労働市場としての魅力的だと評価されています。

### メリットは？

まずは、人口が若くて意識と質の高い人材が豊富なところ です。現在、ベトナムの人口は約9,720万人(2016年)で、6億人という巨大市場であるASEANの中でも3番目の人口を抱えています。また、技術力が高いことも評価されています。繊維産業が主力であることからわかるように手先が非常に器用です。そして、ITリテラシーも高く、細部に渡って質の高い仕事を期待することができます。若くて意識と質の高い人材が豊富であるということはベトナム市場の魅力のひとつです。さらに親日である国民が非常に多いことも付け加えておきます。

資源が豊富で物価が安く、雇用コストも低いです。ベトナムは、米やコーヒー栽培を代表とする農業資源が豊富です。また、観光資源も豊富で、近年観光地としても人気を集めております。そうした中での物価の安さが、海外からの注目を集める理由のひとつにもなっています。たしかに近年、物価は上昇傾向にあると言われてはいますが、それでも日本の物価の約3分の1程です。



### デメリットは？

インフラ設備が整っていないことです。また市内の光化学スモッグなども社会問題となり、空気汚染などといった環境問題も課題となっている状態です。またバイク普及率が非常に高いベトナム交通インフラでは、道路の不整備などから渋滞や事故に巻き込まれることも少なくありません。そして、国と国民の離れた距離、安定しない政策です。それから離職率が高いです。ベトナム人は社内のコミュニケーションを重んじます。日系企業が進出する際は、離職させないためにも言語の壁を乗り越え、コミュニケーションを密に取っていくことも大切なのです。



### ベトナム進出企業数、業界、現在の状況について

ベトナムでの日系企業の活動は年々拡大傾向にあります。2019年12月時点、日本からベトナムへの進出企業数は1943社が確認されており、また「今後1～2年の事業展開の方向性」に関して、約63.9%の企業が「拡大」と回答しています。コロナ感染拡大前の調査のため、今後数字が変動する可能性があります。多くの企業がベトナムの今後の可能性に期待しています。「2019年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」では、858社の在ベトナム日系企業からの回答のうち、453社は製造業、非製造業は405社と製造業の割合が高く、実際に多くの製造業がベトナムに進出しています。また同調査によると、中小企業の割合が高く、タイの日系企業と同じ傾向が見られます。

営業利益見込みについて、アジア・オセアニア地域全体では黒字と回答した企業が65.5%、赤字が17.7%とベトナムは黒字が65.8%、赤字が20.2%です。今後1～2年の事業展開の方向性については、ベトナムは「拡大」と回答した企業が63.9%、「縮小」は2.7%設立から20年以上経っている企業でも、半数以上が「拡大」と回答しています。

### 実際に多様な日系企業が進出しています。ベトナムに進出している主な日系企業は？

UNIQLO, キヤノン, パナソニック, ホンダ, トヨタ, 日本電産, プリヂェストン, マブチモーター, イオン, ファミリーマートなどがあります。製造業だけでなく、イオンやファミリーマートのような小売店も進出しています。またイオンモールは2019年12月5日に、ベトナム・ハノイ市で2モール目となる「イオンモール ハドン」をオープンしています。またイオンモールの1階には、ハノイ市初出店の「テキサス チキン」「スターバックス コーヒー」も出店しており、人気です。

参考: 進出のメリット・デメリット

[https://www.theoceanz.com/Countryinfo/vietnam\\_merit#gsc.tab=0](https://www.theoceanz.com/Countryinfo/vietnam_merit#gsc.tab=0)

参考: 日本企業のベトナム進出の現状と課題

## 新入会員紹介



### 齋藤 裕紀

今市きぬRC  
2021年9月14日入会

株式会社栃木銀行  
今市支店 支店長

豊かな地域社会作りに努めて参ります。  
ご指導の程宜しくお願い致します。



### 竹内 隆司

佐野RC  
2021年9月27日入会

東邦建株式会社  
代表取締役社長

クラブの目的・基本理念を踏まえて、積極  
的に5大奉仕活動に努めています。



### 岩本 達之

宇都宮陽東RC  
2021年10月1日入会

税理士法人長谷川会計事務所  
代表社員・所長

素晴らしいロータリアンの方々と出会える  
ことを大変楽しみにしています。

## 入会おめでとうございます

## コーディネーターニュース



## コーディネーター 2021年10月号 No.1 NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

### 「未来ビジョン委員会」設置について

世界のすべての地域で熱波、豪雨、干ばつ、熱帯低気圧の極端な異常気象はすでに顕在化し、新型コロナウイルス感染症が収まることなく、多くの人が振り回され「2度目の秋」を迎えます。ロータリー年度も早いもので三ヶ月が過ぎました。早い地区では地区大会開催が計画されているかと思えます。

さて今年度、ロータリーは、会員基盤の成長への多大なコミットメントと功績を示した会員を認証するプログラムを立ち上げました。新会員推薦者を認証するメンバーシップ・ソサエティで、25人以上の新会員を推薦した会員を紹介するバーチャル形式のギャラリーです。

認証レベルにはプラチナレベル（75名以上推薦）、ゴールド（50～74名）、シルバー（30～49名）、ブロンズ（25～29名）5つのレベルがありますが、日本はゴールド2名、シルバー11名、ブロンズ10名の方々がいらっしゃいます。是非とも My ROTARY の会員コーナーをご覧ください。

さて、皆様の地区では「戦略計画委員会」が設置されていますか？

団塊の世代が75歳を迎え、各クラブに於いてコロナ禍の影響もありますが、会員の高齢化と会員減少がみられます。クラブ、地区においてこの問題に真剣に取り組む努力をしていますが、既存の会員は毎年かならず歳を重ねていきます。高齢化から老齢化の道に進まないために毎年新しい会員を入れていくことはクラブの活性化に繋がります。又、入会5年以内の退会が目立つのも事実です。会員増強、そして会員基盤の育成はクラブ、地区の急務です。「将来、こうありたい」と思う3年後・5年後・10年後の望ましいクラブの姿のビジョンを描き、それに従った目標と行動計画を立て、クラブの活性化を図る「未来ビジョン計画」が必要です。

私の所属する2510地区では、今年度から改めて地区クラブ奉仕委員会が中心となり、クラブの「戦略計画委員会」を「未来ビジョン委員会」と名称を変え委員会の設置を改めて強く呼びかけることにしました。計画立案のプロセスとして第1段階：クラブの現状分析、第2段階：クラブのビジョン作成、第3段階：ビジョン実現の為の計画作成、第4段階：計画の進捗確認・検証・調整としました。各クラブにおける「未来ビジョン委員会」は、それぞれのクラブの自主性と独自性を尊重し、これからのクラブの在り方を諮問していくものです。現会長・直前会長・次年度会長・次々年度会長を含み継続性に配慮する。幅広い見解を取り入れるために、出来るだけ多様な会員の参加、「ロータリーのビジョン声明」と「ロータリーの戦略的優先事項と目的」に沿ったものとする。地区戦略計画作成の参考にして頂ければと思います。

我々ロータリアン、ロータリークラブ、地区はこのような状況においても「SINKA」をしなければなりません。新価：新しい価値を作り出す。深化：改善により魅力を高めていく。真価：世の中に認められる。進化：そして前進して行くです。TOGETHER～GROW～ACTIONをもって皆様の地区・クラブが益々のご発展されます事ご祈念申し上げます。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 福井 敬悟（札幌手稲RC）





## コーディネーター NEWS 2021年10月号 No.2

発行：Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

### 公共イメージ向上オンラインセミナー報告

去る9月4日、三地域合同によるオンラインセミナーが開催されました。辰野克彦RI理事・佐藤芳郎RI理事エレクトを始め、三地域のコーディネーター・各地区ガバナー・ガバナーエレクト・地区委員長など、総勢約120名が参加されました。冒頭、辰野RI理事は「予算の不足は知恵を使って補い」ロータリーのブランドイメージの向上を期待したい旨を呼びかけられました。

セッション1では、R3山下皓三RPICが「公共イメージの推進」と題し、その重要性・方法・成功例を踏まえた上で、「変化を受け入れましょう」と呼びかけられました。セッション2では、R1井原實RPICが「ロータリーブランドとロゴの重要性」と題し、戦闘中の兵士でさえ銃撃を止める「赤十字」のブランド力を例示し、ロータリーブランドの更なる向上の必要性を問い掛けました。セッション3では、R2服部陽子RPICが「世界ポリオデーに向けての取り組み」と題し、来る10月22日に予定される日本経済新聞一面広告・12月8日に予定される記念講演「ポストコロナの生命哲学」などの諸事業について解説されました。

続いて、これまで世界ポリオデーに合わせて各地区で行われた事例発表として、2770地区越谷北RC・小林操PDGが「地区をまとめた取り組み」を、2640地区岸和田東RC・藤井秀香PDGが「高野山での祈禱、ポリオ根絶に向けての活動報告」を、2790地区千葉RC・梶原等DGが「成田山での祈禱（今年度事業として計画中）」を、2750地区東京小金井RC・田中靖地区公共イメージ委員会委員長が「トレインジャック（今年度事業として計画中）」を発表されました。

全企画とも、FacebookなどのSNSを使って情報発信するのみならず、新聞記事やテレビニュース・特番などに取り上げられ、ロータリーのイメージ向上に貢献致しました。加えて、一つの企画のみを実施するに留まらず、同地区内で多発的な事業の同時開催を試み、あるいは役場・公民館・観光センターなどの公共施設に募金箱を併設し、更にローターアクトや奨学生などロータリーファミリーおよび隣接する他地区との連携を図るなど、参加者の基盤を拡大する工夫もされておりました。

事業を実施した成果として、小林操PDGは「やればできるという前例となり、共通の思い出と共に地区が一つになった」との想いを語られました。

最後に、佐藤RI理事エレクトの「日本中のクラブがアクションを起こして頂きたい」との講評を以って閉会となりました。

私にとっても、大きな収穫となったセミナーで御座いました。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 寺嶋 哲生（柏RC）

## 2021-2022 地区内主要行事

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
11	7	日			ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
11	20~22	土~月				
11	27	土			ベルヴィ宇都宮	地区米山記念奨学会委員会
11	28	土		オンラインor ハイブリット方式	ホテルニューイタヤ	地区ローターアクトクラブ
12	12	日			ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	19	日			ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
12	19	日				

### 2022年

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
2	6	日			ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	6	日			ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	11	金				地区ロータリー財団委員会

## <佐野東RC>の例会場の名称変更のお知らせ

例会場の新名称 ホテル「仙水閣」

尚、下記例会場の住所、電話番号並びに例会曜日・時間は変更ありません。

〒327-0842 栃木県佐野市奈良淵町316 電話0283-21-4888

## 9月会員数報告

	クラブ名	例会数	会員数								
			7月	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満
第1グループ	大田原	1	29	29	0	0	0	0	0	1	0
	黒磯	3	36	37	0	0	1	0	1	2	1
	西那須野	1	47	47	0	0	1	1	0	2	0
	黒羽	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	2	24	24	0	0	0	0	0	1	2
第2グループ	鳥山	0	17	16	0	0	0	1	-1	2	0
	氏家	2	24	24	0	0	0	0	0	2	0
	矢板	1	10	10	0	0	0	0	0	1	0
	馬頭小川	0	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	高根沢	1	15	15	0	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	3	101	104	2	0	3	0	3	2	1
	宇都宮西	1	75	76	0	0	1	0	1	0	1
	宇都宮北	1	43	43	0	0	1	1	0	0	0
	宇都宮90	0	46	46	0	0	0	0	0	6	1
	(宇都宮90結・衛星)	1	6	6	0	0	0	0	0	4	2
	宇都宮陽北	0	46	46	0	0	0	0	0	9	8
第3グループB	宇都宮東	4	112	113	0	0	4	3	1	0	4
	宇都宮南	5	54	55	0	0	1	0	1	5	0
	宇都宮陽東	0	49	49	0	0	0	0	0	8	1
	宇都宮陽南	2	24	25	1	0	1	0	1	7	4
	宇都宮さつき	0	25	25	0	0	0	0	0	4	3
第4グループ	真岡	1	57	57	0	0	0	0	0	0	0
	益子	0	28	28	0	0	0	0	0	2	1
	真岡西	0	35	36	0	0	2	1	1	5	0
	しもつけ	1	20	19	0	0	0	1	-1	3	1

	クラブ名	例会数	会員数								
			7月	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満
第5グループ	小山山	3	22	22	0	0	3	3	0	1	0
	小山南	0	15	14	0	0	0	1	-1	2	0
	小山東	0	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	小山中	0	24	24	0	0	0	0	0	0	4
	小山中	0	24	24	0	0	0	0	0	2	0
第6グループ	栃木	0	46	49	0	0	3	0	3	5	0
	栃木西	0	34	34	0	0	0	0	0	1	0
	岩舟	2	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	壬生	0	20	20	0	0	0	0	0	2	0
	栃木南	0	36	36	0	0	0	0	0	6	1
第7グループ	日光	0	21	21	0	0	0	0	0	4	0
	鹿沼	0	62	62	0	0	0	0	0	2	4
	今市	0	41	43	1	0	2	0	2	1	0
	鹿沼東	0	37	37	0	0	0	0	0	5	0
	鹿沼中央	0	17	17	0	0	0	0	0	2	0
	今市きぬ	0	27	29	1	0	2	0	2	0	0
第8グループ	足利	2	21	21	0	0	0	0	0	0	1
	足利東	2	34	34	0	0	0	0	0	4	0
	足利西	1	11	11	0	0	0	0	0	1	0
	足利わたらせ	0	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	佐野	0	55	56	1	0	1	0	1	0	0
第9グループ	葛生	0	39	38	1	0	2	3	-1	0	0
	田沼	0	43	43	0	0	0	0	0	0	0
	佐野東	0	21	21	0	0	0	0	0	1	0
	<b>4 8 R C</b>		<b>1668</b>	<b>1681</b>	<b>7</b>	<b>0</b>	<b>28</b>	<b>15</b>	<b>13</b>	<b>105</b>	<b>40</b>

(メークアップは同じ年度内に行うことができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

バルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : http://www.rid2550.com/